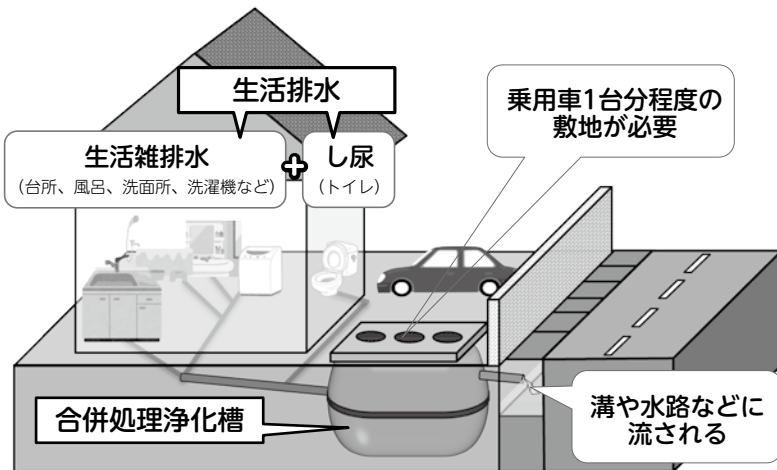


～市全域の合併処理浄化槽整備を目指して～

広報たがわ6月1日号の特集をシリーズ化。

市全域の合併処理浄化槽整備に向けて、みなさんに知ってほしいさまざまな情報をわかりやすく伝えます。今回は「浄化槽をイチから知る」をテーマに、合併処理浄化槽の仕組みや生活排水のゆくえなどを解説します。

合併処理浄化槽の「仕組み」を知ろう



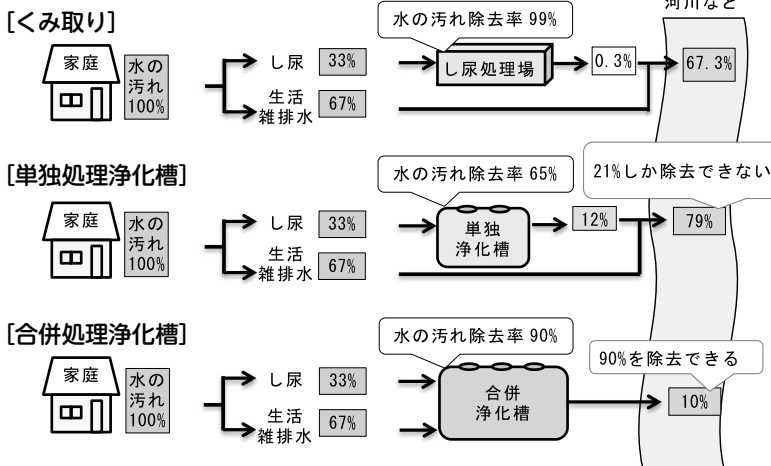
合併処理浄化槽の設置には、乗用車1台分程度の敷地が必要で、各家庭の庭など、空きスペースの地下に埋められています。家から出る生活排水は、屋外の地下に埋められた排水管を通して合併処理浄化槽に集まります。この排水をきれいにする役割を担っているのが、槽内に生きている「微生物」です。この微生物の働きによって水が浄化され、自然の状態に近い水が溝や水路などに流されます。

市役所1階ロビーに、合併処理浄化槽のミニチュアモデルを展示中。内部の構造や浄化の仕組みがよくわかります。



生活排水の「ゆくえ」を知ろう

家庭から排出される「水の汚れ」を100%とした場合



【水の汚れ除去率】浄化槽が水の汚れを除去できる率(値が大きいほど高性能)

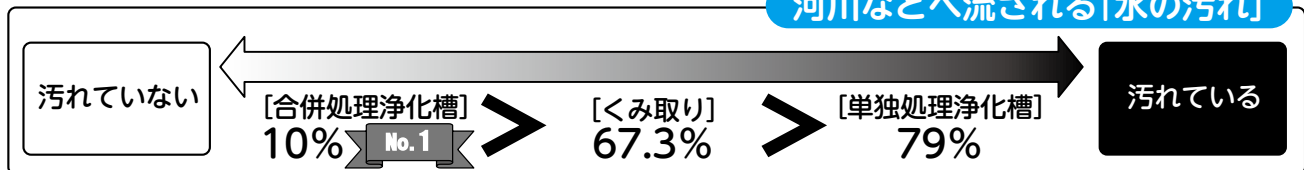
本市において生活排水を処理する方法は、くみ取り便槽、単独処理浄化槽[※]、合併処理浄化槽のいずれかです。くみ取り便槽や単独処理浄化槽の場合は、トイレ以外の生活排水が、溝や川などにそのまま流されてしまっています。特に、単独処理浄化槽は、合併処理浄化槽と比べ、水の汚れを除去する力が劣っています。

まずは、みなさんの生活排水が、どんな状態で、どこに流れていくのか、その「ゆくえ」を知ることが、河川を守る第一歩です。

※2 単独処理浄化槽…トイレからの排水(し尿)のみを処理する浄化槽

比べるとこんなに違う！

河川などへ流される「水の汚れ」



●生活排水処理の「いま」を知ろう

現在、くみ取り便槽や単独処理浄化槽といった「合併処理浄化槽ではない割合」は、市全体の人口に対して約40%。合併処理浄化槽へ転換することを進めない限り、河川などみなさんの身近な環境を守ることはできません。市は、みなさんや次の世代が快適な水環境の中で暮らしていくことができるよう、合併処理浄化槽への転換や適正な維持管理などの啓発を、今後も積極的に展開します。